



平成30年度 山県市教育センター要覧

「氷がとけると・・・」

山県市教育センター所長 鬼頭 立城

ある小学校で担任の先生が、児童に質問しました。

「氷がとけると、どうなりますか？」

多くの児童は、「氷がとけると水になります。」と答えました。

しかし、A児は、「他にもあります」と手を挙げ、次のように答えました。

「氷がとけると春になります。きれいな色でいい匂いの花がいっぱい咲きます。木々や野原は緑になります。山からは小鳥の鳴き声が聞こえてきます。田んぼからは蛙のうたが聞こえてきます。・・・」



A児は、「氷がとけると」の発問から、生活体験と関わらせて、身の周りの自然環境の変化をイメージし、言葉にしました。その内容には、諸感覚を働かせた「春の訪れ」が表現されています。豊かな感性を感じます。きっと、A児は、これまでに様々な活動したり、学習したりといった豊かで多様な体験があったことと考えます。また、そうした営みを周りが創ってきたのだと想像します。

これからのA Iの台頭する社会に求められる力は、「人間力」と言われます。A児を通して考えます。

- ・自分の視覚などの感覚、学習する内容や体験活動による理解
 - ・自然のよさや美しさを感じ取ったり考えたりし、自分の見方・感じ方・表し方を深め、味わうことのできる思考力・判断力・表現力
 - ・自然・ひと・もの・ことと関わり、感動ある豊かな営みを創り出し、よりよい価値に向かう意思や心情等の学びに向かう力と人間性
- このような三つの資質・能力の育ちをとらえます。

確かに、氷がとけると水になります。しかし、児童生徒を想うとき、答えはそれだけではありません。児童生徒の瑞々しい感性、多様な営み、これまでの学習経験等々の立場に立つことが学習指導のスタートではないでしょうか。例えばとして、これまでの学習指導（案）が「氷がとけると水になります。」のみの想定であれば、改善を図る必要があります。

すでに進みつつありますが、山県市学校教育の指針の「分かる授業・心にひびく教育」の改善の視点は、授業設計等において「児童生徒がどんな力を発揮し、どう学ぶか」に徹することではないかと考えます。豊かな山県市の環境と「チーム山県」の全教職員で「山県市ならではの教育」を創りあげましょう。

「チーム YAMAGATA（山県ならではの教育）」

たくましく 規 律（最重点項目の徹底）：かしこく 学 力（確かな学力定着の体制づくりと授業改善）：なかよく 自己有用感（絆づくり）

30年度 教育センター事業

I 研修

<基本研修>

	名 称	内 容	対 象	月 日
1	新赴任者研修 (夏期講座：歴史)	山県市に初めて赴任する教職員が、史跡等について学び、教育に生かす。	新赴任者	7/30
2	初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用職員	7/3 10/16
3	2年目研修会	採用2年目の教員が互いの実践を交流したり、課題を追求したりすることを通して、一層の資質向上を図る。	採用2年目教員 (直採講師研と 合同)	5/24 10/4
4	3・6年目研修会	教職1校目・2校目の教員が実践交流をし、今後の教員としてのあり方を考える。	採用3・6年目教員	10/4
5	直採講師研修会	児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	直採講師＋参加希望講師 (2年目研と合同)	5/24
6	学習支援 ・教育サポーター研修会	児童生徒への具体的な支援のあり方や、支援者としての資質向上を図る研修をする。	学習支援員 教育サポーター	5/1 6/4
7	図書館主任 読書指導員研修会	図書館主任・読書指導員としての職務及び読書指導の研修をする。 ＊2回目は、読書指導員のみが参加	図書館主任 読書指導員	5/22 5/22 7/18
8	特別支援コーディネーター 研修会	特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。	特別支援コーディネーター	6/8 11/8

<自己啓発研修>

	名 称	内 容	対 象	月 日
9	夏期講座	今日的な課題を解決する知識や技能を身に付け、指導力を高める。	該当者 教職員希望者	7/25 7/27 7/30
	夏期講座：剣道 (隔年実施)	中学校における武道(剣道)指導の基礎と実技を学ぶ。	中学校体育科指導教員(含：免外)	なし
10	学校づくり コンサルタント	学校が希望する指導者を講師として招き、学校運営の助言を受ける。	学校管理職	
11	研究主任会	小中学校の校内研究について、情報交流し、実態に応じた研究のあり方を考える。	研究主任	随時
12	僻地・複式研修会	複式学級担任としての指導方法や情報を交流・共有し、指導力を高める。	複式学級担任	随時

II 調査・研究

	名 称	内 容	対 象	月 日
21	教育の進化を求めて (教育懇談会)	市の学校教育に関する幅広い意見や提言をいただく。	教育関係者等	12/6
22	スタートカリキュラム 活用研修会	小学校生活スタート時の具体的な指導方法を交流し合い、指導に生かす。	小1担任全員	4/19
23	教育実践論文	実践論文等の募集を行い、主体的な研究実践の奨励をする。	教職員	審査会 1/15
24	学力向上推進会議	各校の学力定着等の取組状況の交流・検討を通して、基礎学力の向上を図る。	学力向上推進教師	6/28 2/26
25	情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、教育情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。	情報教育推進委員	5/15
26	英語教育推進委員会	小学校英語の研修等を通して教職員の指導力向上を図る。	英語教育推進教師	5/11 12/13
27	社会科副教材 作成委員会	社会科の教科書の内容にあわせ、市の文化・自然・社会の教材化を図る。	作成委員	未定
28	小中連携研究会	各小中学校間で、共通して取り組む指導内容を相互に理解し、指導に生かす。		中学校 区随時
29	学校運営協議会 推進委員会	学校運営への保護者・地域住民の参画による「地域と共に学校づくり」の推進を図る。	各中学校区 協議会推進委員	中学校 区随時

III 情報収集・発信

教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
センターだより「いしづえ」	センター関連記事の掲載
図書（児童・教師用）等の貸出	センター蔵書（含：大型絵本，教科書）
テラステーション (データ管理)	スタートカリキュラム，国語作品集 社会科副読本，市教研・校内研の授業案，公表会案内
廃棄図書活用	各学校で廃棄処分とした図書を施設で活用
拡大コピー（白黒・カラー）	大型掲示 垂れ幕等

Ⅳ 教育相談

<適応指導>

趣旨 不登校の児童生徒に対し指導・援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

① 生活指導員による支援（長期休業中を除く）

教室 コスモス教室 山県市教育センター内 TEL：52-1571

月曜日～金曜日 9時～12時（基本）

コスモス分室 高富中央公民館 TEL：52-1571（センター受付）

火曜日～金曜日 9時～12時（基本）

② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ、教育相談員を派遣し教育支援を行う。

<電話相談>

趣旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓口 教育センター「コスモス」 TEL：52-1571

日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分

<教育相談研修会>

趣旨 不登校の児童生徒の自立を支援するために、関係を密にして、よりよい指導・援助の充実を図る。

研修会 教育相談担当者研修会 年2回 5/10 9/25

V 児童生徒対象

名 称	内 容	月 日
夏休み作品相談	電話で相談を受け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を図る。	夏期休業中
夏休み作品展	優れた作品の表彰を行うと共に作品展示を行い、教科学習の促進を図る。	9/7～9/9
夏休み作品づくり	テーマを決めて作り方を工夫し、楽しい作品を作る。 （新聞切り抜き作品）	7/23
こどもの市展	作品（図工・美術・書写）のもつよさや美しさに触れ、表現意欲を高める。	11/22～ 12/2
作文等相談	体験したことや考えたことなどを書き表し、伝える力の向上を図る。	随時

VI 貸出物品

教材教具	プロジェクター スクリーン 譜面台
野外活動関係	キャンプファイヤー関係 野外炊事調理器具
諸検査用具	WISC-III (知能検査器具・知能検査記録紙) WISC-IV (知能検査器具・知能検査記録紙) デジタル騒音計 照度計 グッドイナフテスト 箱庭療法用具 S-M社会生活能力検査用紙
教科用図書	小中学校の検定教科書 (各社)
児童用図書	大型絵本 紙芝居等
ゲーム等	ペタンク もちつき用具 (臼, 杵) 焼き杉用具 大鍋 キャンドルサービス用具等

センター職員

所 長	(学校教育課長)	鬼頭 立城
次 長		杉山 純代
主任教育相談員		丹所 充哉
センター学習支援員		神山 基子
センター事務		高屋 重義
主 幹	(学校教育課)	森川 勝介
課長補佐	(学校教育課)	宮川 ゆかり
課長補佐	(学校教育課)	高橋 茂洋
主 幹	(生涯学習課)	水谷 勝彦
課長補佐	(生涯学習課)	藤根 勝

教育相談員 (中学校『教育相談室』)

高富中：井藤 康子・鷺見 顕 美山中：菊地 昌代

生活相談員 (適応支援教室『コスモス』)

村瀬 文・岩間 伸浩・服部 紀子・北洞 雅子

体育協会事務局

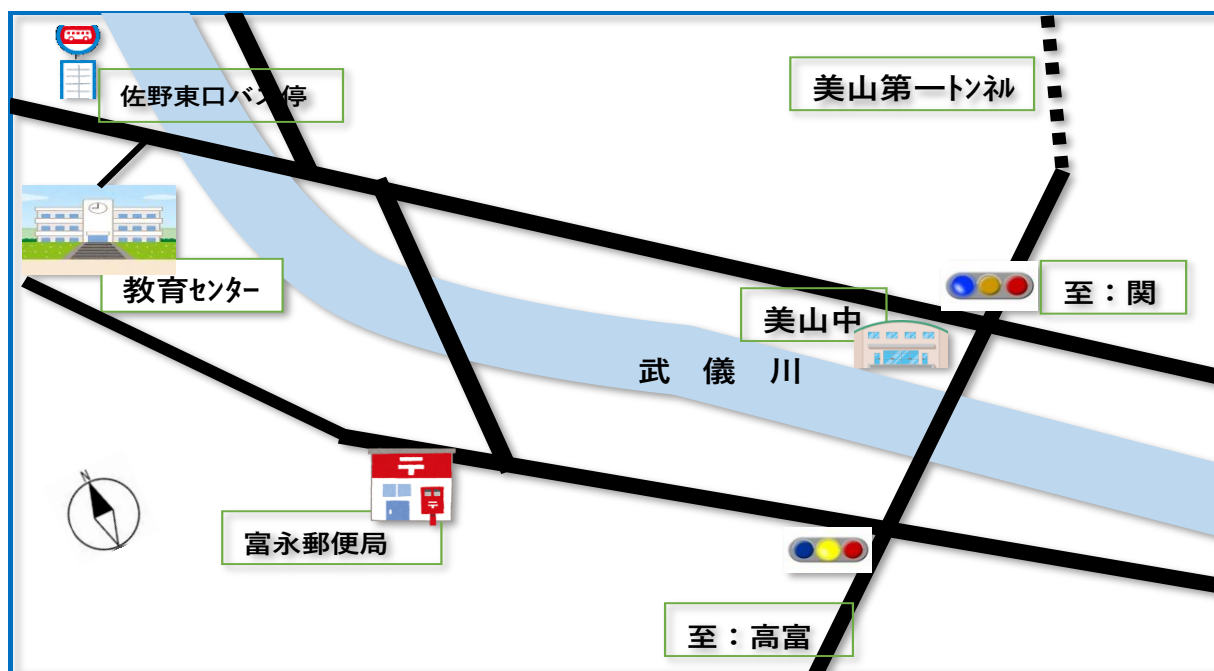
和田 全弘

放課後子ども教室コーディネーター

山田 立晴・横山 数馬

沿革

- | | |
|--------|--|
| 平成15年度 | * 山県市教育センター設置 |
| 平成16年度 | * センター次長配置
* 相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
* 山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
* センター広報紙「いしずえ」初版発行 |
| 平成17年度 | * 新規15事業開設 |
| 平成19年度 | * 事業の整理統合，新規2事業（学校教育） |
| 平成20年度 | * 事業の整理統合，新規7事業（教職員研修） |
| 平成21年度 | * 学校地域支援本部との連携 |
| 平成22年度 | * センター移転（旧富波小学校へ）
* 適応支援教室『コスモス』統合
* 大研修室にエアコン設置 |
| 平成23年度 | * 主任教育相談員，主任学習支援員配置
* 2階研修室にエアコン設置 |
| 平成28年度 | * 山県市体育協会事務局を教育センターに配置 |
| 平成29年度 | * 主任学習支援員に代わり，センター学習支援員配置
* 10月 『コスモス分室』を，高富中央公民館内に設置 |



山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地

TEL 0581-52-1007

FAX 0581-51-0030

E-mail k-center@yamagata-gifu.ed.jp